

もりまち 議会だより



森町消防団入退団式

P 2 当初予算特集

- ・議員が注目した当初予算は
- ・次代を拓くチャレンジ予算の概要
- ・常任委員会で詳細な審査を実施

P 10 3月定例会・2月臨時会概要

P 14 町政を問う 一般質問

P 18 町へ政策提言検証評価を提出

令和4年4月3日に地域防災の担い手である消防団の入退団式が総合体育館で行われました。3月定例会では、人口減少等の要因で団員数が減少している状況を考慮し、処遇改善等を目的に条例が改正されました。詳しくは10ページをご覧ください。



なかね ゆきお
中根幸男議長

コロナ対策と
安心安全なまちづくり



よしすけ いぢ
吉筋恵治副議長

企業誘致に向けた
インフラ整備



かとう ひさゆき
加藤久幸

心身障害児と
家族に優しい町へ
療育推進及び負担軽減



かわさし わかこ
川岸和花子

健康こども課新設と
待機児童減につながる
保育所新設支援



ますだ きょうこ
増田恭子

遠州の小京都に
ふさわしいまちづくり
リノベーション推進計画



しみず けんいち
清水健一

開発可能性調査で
企業誘致に弾みを

ここに
ました

次ページから 当初予算特集



町道新田赤松線の
積極的な整備促進



寄附金の使い道を
明確に！
ふるさと納税推進事業



町DX推進に向け
外部のデジタル人材を
活用



電動アシスト自転車
普及に向けた
購入費補助



移住定住の
さらなる促進を
地域おこし協力隊事業



家庭内防災対策の促進
耐震化促進事業費補助

令和4年度 当初予算 私は 注目し

次代を拓くチャレンジ予算

一般会計当初予算過去最大

87

億円を 可決

3 月 定例会

森町議会は、3月定例会を1日から24日までの会期24日間で開催しました。補正予算や条例改正など提案された38議案を審議し、**全会一致で可決**しました。また、議員発議2件を採択し、陳情1件をみなし採択しました。一般質問は、3人が質問しました。（14～17ページに掲載）

② デジタル化の推進

証明書等をコンビニ交付するためのシステムを導入する。

③ 企業誘致

中川下工業専用地域と森掛川IC周辺地区の開発可能性調査を実施する。

④ 遠州の小京都 リノベーション 推進計画策定

古民家等の活用計画を、昨年度に引き続き策定する。

⑤ 新田赤松線整備

昨年度に引き続き整備促進する。

⑥ 空き家利活用促進

空き家の利活用促進支援補助金の内容を、リフォームにも対応したものへ拡充する。

⑦ ICT教育充実

ICT授業づくりのためのアドバイザーを拡充する。

⑧ 防災体制の強化

消防団配備の車両更新、ハザードマップ等の更新を行う。

① 子育て支援

待機児童解消につながる町内民間保育所新設を支援する。また、健康こども課を新設する。

新規事業や注目事業の主な内容は、次のとおりです。

令和4年度一般会計当初予算は87億7600万円で、前年度に対して9億400万円増となりました。これは過去最大の予算規模です。本予算は、感染症対策を引き続き進めるとともに、町の長年の課題に対し前進する姿勢が見受けられました。

新規事業や注目事業の

主な内容は、次のとおり

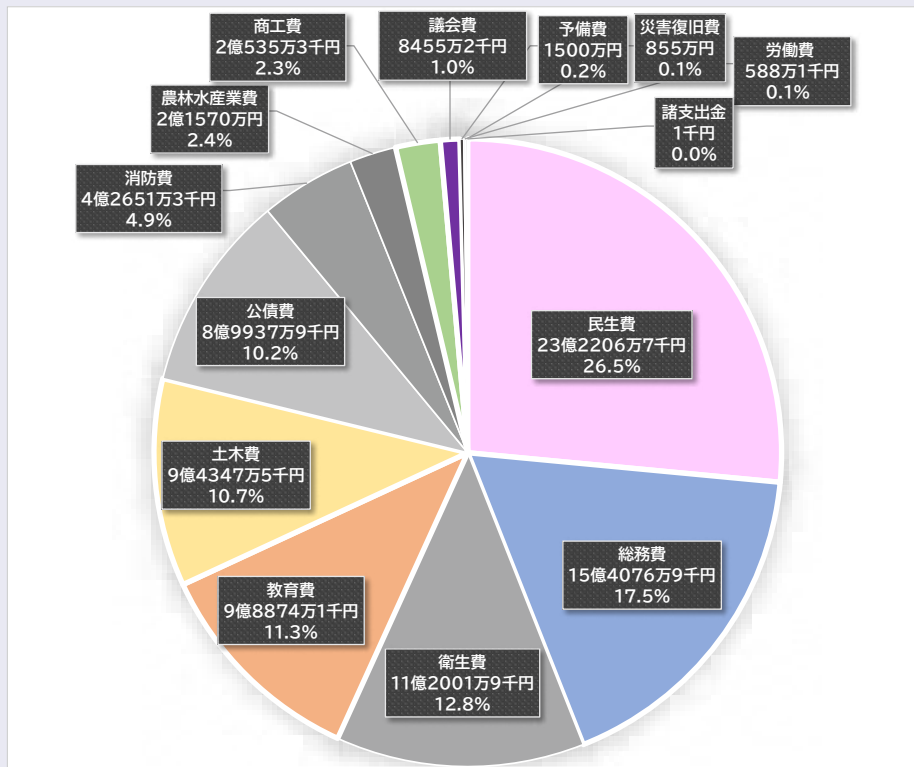
です。



▲質疑の様子は
こちらから
(森町議会 YouTube)

ウィズコロナを見据えた

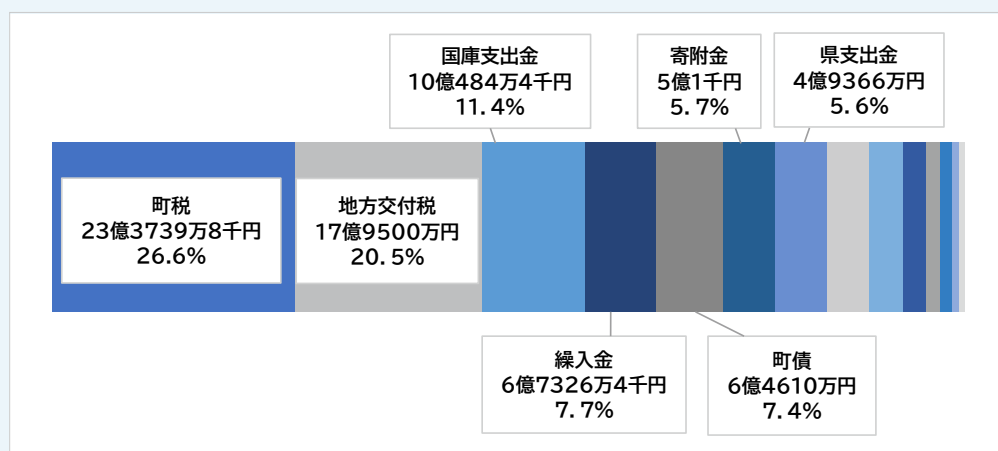
一般会計 歳出



歳出の主な増加要因は、新田赤松線の整備促進に伴う事業費や民間保育園整備事業に係る補助金、ふるさと納税推進事業費の増額等が挙げられます。

また、減額要因は、旧周智高校機械実習棟の施設改修事業の完了等が挙げられます。

一般会計 歳入



自主財源の大半を占める町税は、地方財政計画の見込みや企業実績等を考慮し、前年度と比べて増額となりました。

また、町の様々な対策事業の財源になる町債は、前年度と比べて減額となりました。

(令和3年度の町債残高の見込み：88億1180万円)

特別会計・企業会計

森町には、**7**つの特別会計と**2**つの企業会計があります。

特定の収入や支出を一般会計と切り離して、独立して行われる会計を指します。
令和4年度一般会計予算とともに、各会計の概要を掲載します。

国民健康保険特別会計

予算総額 21億4373万円

- ・対前年度比 5740万2千円の増額
- ・主な財源 国民健康保険税、県支出金、町繰入金 等
- ・主な使い道 国民健康保険加入者への療養費等給付、健康診査等の保健事業



後期高齢者医療特別会計

予算総額 2億3791万7千円

- ・対前年度比 1181万円の増額
- ・主な財源 後期高齢者医療保険料、町繰入金 等
- ・主な使い道 静岡県後期高齢者医療広域連合への納付金

後期高齢者
医療制度

75歳以上又は
65歳以上で一定の
障がいを持つ高齢
者が加入する公的
医療保険制度

介護保険特別会計

予算総額 22億4091万円

- ・対前年度比 4213万7千円の増額
- ・主な財源 介護保険料、国・県支出金、町繰入金 等
- ・主な使い道 介護サービス費の給付



公共下水道事業特別会計

予算総額 7億8534万1千円

- ・対前年度比 1億4378万円の増額
- ・主な財源 国支出金、町繰入金、町債、下水道使用料 等
- ・主な使い道 下水道管の築造工事事業、浄化センターの維持管理、借入金の返済

簡易水道事業特別会計

大久保簡易水道事業会計 予算総額 131万9千円

三倉簡易水道事業会計 予算総額 119万6千円

大河内簡易水道事業会計 予算総額 19万1千円

水道事業会計

予算総額 8億5583万円 (歳出の総額)

- ・対前年度比 2億6387万4千円の増額
- ・主な財源 水道料金、企業債、町出資金 等
- ・主な使い道 水道施設の増改築、水道管の布設替工事、水道施設の維持管理費用、遠州水道から水を購入する費用



病院事業会計

予算総額 35億9886万2千円 (歳出の総額)

- ・対前年度比 3591万5千円の増額
- ・主な財源 病院事業収益、町出資金 等
- ・主な使い道 病院を運営する費用



第一常任委員会

総務課、防災課、企画財政課、保健福祉課（現 福祉課、健康こども課）、会計課、教育委員会及び公立森町病院の所管に関する事務を担当



常任委員会審査（抜粋）

条例及び令和4年度当初予算については、第一・第二常任委員会に議案を付託し、3月9日から11日まで詳細な審査を行いました。

健康・福祉

・保育所等整備事業費補助金
(1億2278万6千円)

Q 町南部に新たな保育所が開設予定とのことであるが、町の支援は。

A 飯田地区に、定員70名の民間認可保育園が新設される予定。その新設に対して、町として補助金で支援していく。

・保育所入所枠確保対策補助金
(302万4千円)

AQ 補助金の内容は。令和4年度は3歳児の入所保留が多いため、認可保育園に枠を増やしていただく。それに対して町が補助する。

定期予防接種負担金

(3353万3千円)

Q 子宮頸がんの予防接種は再推奨していくのか。

A 厚労省で積極的勧奨が再開されたため、町でも再開する。対象者は12歳から16歳までの女子。また、勧奨を中止していた期間に接種機会を逃した方への接種も進める。

教育

・地域学校協働活動推進事業
(269万4千円)

AQ 事業の詳細は。

A 令和3年度から旭が丘中学校区に、「地域学校協働活動推進員」を配置した。令和4年度は、森中学校区にも配置予定。業務内容は、草刈り等のボランティアや歴史の

授業などで協力いただける地域の方の手配など、学校と地域をつなぐ活動を行っていた。・図書館吊り天井耐震補強工事
(2652万8千円)

Q どのような工事を行うのか。

A 森町図書館の天井を、吊りボルトと天井の継目をワイヤーで繋いで、安全性を保つ工事を行う。

また、吸音性が高く軽いボードの張替えも行う。**Q** 閉館中に移動図書館等をしてはどうか。

A 工事期間中は安全を考えて閉館とし、貸出等は予定していないが、実施可能なサービスを検討する。



改修を行う森町図書館天井

DX推進

・DX推進業務委託料
(782万8千円)

AQ 業務委託の目的は。

A 民間の専門家に委託し、庁内のDX推進に向けて計画の作成支援をしていた。

森町名誉町民条例

AQ 選考の手順は。

A 選考委員会に諮問し、答申を得る。その後、議会の同意を得て決定する。

Q 候補者はご存命の方に限るのか。

A 現在はそうのように考えている。

Q 令和4年度に候補となりそうなのはいるか。

A ご本人の同意を得たのち、候補者として扱っていききたい。

第二常任委員会

税務課、住民生活課、産業課、建設課、定住推進課及び上下水道課の所管に関する事務を担当



道路整備

・新田赤松線の整備促進
(2億3659万7千円)

Q 改築工事の全体費用の見込みは。

A 約15億円程度を見込んでいます。また、全体の延長は、830メートルと見込んでいます。その中の一部を、令和4年度で計上している。

・町道駅前下宿線改良事業
(1500万円)

Q 郵便局前交差点に右折帯は設けないのか。

A 右折帯の設置は考えていない。本工事は、歩行者や車両の安全確保を目的としたものであり、視野の確保のために建物解体と道路線形の改良を行う。



改良を行う郵便局前交差点

下水道整備

・下水道全体計画変更業務委託料
(471万6千円)

Q 計画変更の内容は。

A 総合的に検討した結果、太田川左岸側及び円田の一部を下水道による集合処理から浄化槽による個別処理に変更する。

・下水道管渠築造工事
(3億6360万円)

Q 実施地域はどこか。

A 令和4年度は、川久保・川向・赤松地区で実施する。

・下水道管渠築造工事補償金
(1億2464万7千円)

Q 補償の内容は。

A 下水道工事で支障となる上水道管の移設や、仮設工事の費用を補償するものである。

企業誘致

・開発可能性調査業務委託料
中川下工業専用地域
(946万円)

森掛川・C周辺地区
(1521万3千円)

Q 両調査の内容は。

A 企業誘致の整備の可能性を調査するものである。

中川下工業専用地域については、北側農地の活用等も含めた調査を行う。

森掛川・C周辺地区については、地質調査等を実施して調査を行う。

・上水道事業会計繰出金
(2070万円)

Q この繰出金は、企業進出の可能性を見越した上での繰出か。

A 掛川天竜線沿いの拠点防災倉庫周辺に企業進出を促す意味での先行投資であり、上水道を布設する工事に対する繰出金である。

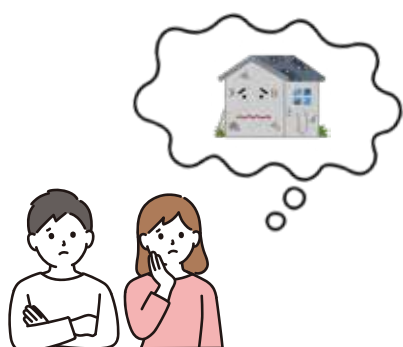
空き家利活用推進

・空き家等利活用促進支援補助金
(400万円)

Q 昨年度との運用の変更点は何か。

A 空き家バンクに登録したくても、リフォームしないと登録できない方の後押しとなるよう、リフォーム補助金を追加した。

また、空き家バンクの活性化のため、令和4年度から登録要件を緩和する方向で考えている。居住する方だけではなく、地域活性化につながるような使い方ができるよう、対象を広げていきたい。



\Pickup /

①

中小企業等を支援する町の姿勢を明文化

新たに「森町中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定

主な内容

①制定の目的

町内に存在する中小企業・小規模企業は、多様な事業活動を通じて地域社会の重要な役割を果たしているが、近年の様々な要因により、企業を取り巻く環境は、厳しい状況が続いている。

今回、より一層の中小企業・小規模企業の振興につなげるため、振興に関する基本的事項を明文化する条例を制定する。

②主な制定内容

- ・町の責務
- ・基本方針
- ・中小企業・小規模企業の努力
- ・中小企業・小規模企業支援団体の役割
- ・金融機関の役割
- ・大企業者の役割
- ・町民の理解及び協力

③施行日

令和4年3月29日



森町議会も中小企業・小規模企業の皆さんを応援します！

主な質疑内容

Q 条例前文に業種が示されている。町には多種多様な企業があるが、なぜこの記載にしたのか。

A 条例前文は、町の業態の特徴を示した。森町は、他市町に比べてその業種に関わる企業が多く、特徴としてそのような表現とした。

\Pickup /

②

消防団の処遇改善を図る条例改正

地域防災の要である森町消防団に関する手当や条件等を改正したもの

主な改正内容

①改正の目的

消防団員数の減少による地域防災力の低下を防ぐため、消防団員の処遇改善として、階級に応じた団員報酬額等を改正する。

②主な改正内容

- ・居住条件
 - ・町に居住している者以外でも、団員としての資格を有するものとする。
 - ・団員報酬年額等の増額
- | | |
|------|------------|
| 副分団長 | 4万5500円に増額 |
| 部長 | 3万7000円に増額 |
| 副部長 | 3万7000円に増額 |
| 班長 | 3万7000円に増額 |
| 団員 | 3万6500円に増額 |

③施行日

令和4年3月29日

主な質疑内容

Q 年齢制限について見直す考えはあるか。

A 本改正で例外規定を設けたが、今のところ大幅な見直しは考えていない。

Q 団員減少に対する対策はどうか。また、女性消防団員の入団は考えているか。

A 定数不足を補うため、消防車両等の性能を向上させ、少人数でも効果の高い設備を整えていくことに努めている。

女性消防団員については、特性を活かした活動がある一方で、様々な面で制限が加わることもある。その点を考慮しながら、今後検討していく。



\Pickup/

③

令和3年度中に速やかに事業執行するための
令和3年度補正予算（第14号）

6億5254万4千円を追加し、
令和3年度一般会計予算総額を102億2671万9千円とする

主な補正内容

①ふるさと応援基金積立金

（1億9500万円）
ふるさと応援寄附金の見込額増加に伴う積立金の増額

②河川維持改修費

（1978万円）
普通河川白髭沢川（三倉 ほか）
2河川の浚渫工事費及び準用河川小川（一宮）の改修事業費

③地域おこし協力隊活動事業

（△430万円）
当初は3人体制を見込んでいたが、実績が2人体制だったため減額する。

④保育士等処遇改善臨時特例事業補助金

（149万3千円）
保育所等が実施する保育士等の賃金改善に対して補助する。

他 令和3年度中に事業完了が見込めなかった事業費の繰越

主な質疑内容

Q 地域おこし協力隊の任期途中の退任などが発生しているが、採用方法に問題はないか。

A 自治体と隊員の間のミスマッチが途中退任の原因と反省した。改善策として、活動内容等をイメージできるように、採用面接前に2泊3日のお試し体験を実施することとした。

Q 新田赤松線の経費が次年度に繰越となっているが、経緯と今後の予定は。

A 令和3年度の事業計画区間内の地権者の意向確認や調整に時間を要したため、繰越となった。

現在は、該当する地権者と全て交渉が完了。5月末までには予定区間の工事を完了させたい。

\Pickup/

④

国の交付金を活用した事業を
実施するための令和4年度補正予算（第1号）

1億9971万9千円を追加し、
令和4年度一般会計予算総額を89億7571万9千円とする

主な補正内容

①森町体験の里アフターコロナ事業継続補助金

（1300万円）
アフターコロナを見据えた誘客事業に対する補助金

②森町中小企業等創業・事業承継支援事業補助金

（990万円）
森町商工会が行う事業への補助金で、事業承継又は創業を目指す者等が行う取組に対して補助する。

③避難所停電時電源切替システム設置工事

（3077万3千円）
停電時でも非常用電源から施設へ給電できるよう、町指定避難所15施設のシステムを整備する。

④学校教育に係る消耗品費

（3646万5千円）
町内小中学校の児童生徒用学習机と椅子を抗ウイルス仕様ものに整備するための費用（天板等の素材には森町産木材を使用）

主な質疑内容

Q アクティ森の補助金に比べて、創業・事業承継補助金が少ない。もっと手厚くできないか。

A アクティ森は町唯一の観光施設であり、老朽化対策の実施や、様々な取組を行う必要があるため、町として補助を行う。

創業・事業承継補助事業については、主体が森町商工会であり、補助金額は相談実績等に基づく商工会の提案により決定した。

町としては、今回の事業の状況を見て、今後どのような支援をしていけるか検討していきたい。

人事

森町副町長の選任

3月31日の任期満了に伴い、村松弘氏を再任することに同意しました。

森町教育委員会委員の任命

井口始氏の辞職に伴い、新たに村松昌吾氏を任命することに同意しました。

森町農業委員会委員の任命

3月31日の任期満了に伴い、岩瀬進哉氏、小澤清市氏、佐野敦子氏、清水辰範氏、菅沼里之氏、杉本祐美世氏、鈴木剣氏、竹内靖代氏、富田規与美氏、中村繁治氏、船木等氏、森下光宏氏を任命することに同意しました。

決議

決議名

ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

審議結果

原案可決

決議内容（一部抜粋）

ロシア連邦による軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、断じて容認することはできない。

また、プーチン大統領は、今回の軍事侵攻に際し核兵器の使用を示唆する発言により威嚇を行っており、このことは、核兵器の不拡散や廃絶に向けた国際社会の取組を踏みにじる行為として厳し

く抗議し、直ちに撤回を求めるものである。

本町議会は、ロシア連邦に対し、ウクライナへの軍事侵攻について強く抗議するとともに、ロシア連邦が直ちに戦闘を中止し、軍を撤退するよう求める。

※決議とは

議会が行う事実上の意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決を指します。意見書と同じように議員が発案して本会議に諮りますが、決議は法的な根拠はありません。



陳情

陳情名

森町立幼稚園の朝の預かり保育の実施に関する陳情

陳情事項

・森町立幼稚園の午前7時30分からの預かり保育の実施

・森町立幼稚園の朝の預かり保育を行う職員の配置

採択結果

みなし採択

※みなし採択とは

同一会期中に提出された陳情と趣旨の議案が可決された場合に、採決したものと同じことを指します。

2月臨時会



質疑の様子は
こちらから

主な補正内容

①住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

（1億7411万6千円）

住民税非課税世帯と、住民税非課税世帯と同様の事情があると認めた世帯に対し、1世帯当たり10万円を給付する。

②新型コロナウイルスワクチン接種事業

（550万円）

重症化リスクの高い65歳以上の方等の3回目接種を早期に実施するための経費

3 月 議 会 審 議 結 果 一 覧

議案番号	件 名	議決結果	議決日	内 容	
議案第 2 号	専決処分の報告承認を求めることについて（令和3年度森町一般会計補正予算（第13号））	承 認	3月1日	小児に対するワクチン接種を前倒しして実施するための経費	
議案第 3 号	森町副町長の選任について	同 意	3月1日	任期満了に伴い村松弘氏を選任	▶ 12 ページに掲載
議案第 4 号	森町教育委員会委員の任命について	同 意	3月1日	任期満了に伴い村松昌吾氏を選任	▶ 12 ページに掲載
議案第 5 号	森町名誉町民条例について	原案可決	3月24日	対象者に名誉町民の称号を贈り、顕彰するために新たに条例を制定	▶ 8 ページに掲載
議案第 6 号	森町個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	引用法令の名称変更等に伴う条例改正	
議案第 7 号	職員の職務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	書式の押印を廃止する等の条例改正	
議案第 8 号	森町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	非常勤職員の育児休業に関する要件を変更する等の条例改正	
議案第 9 号	森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	令和3年人事院勧告を受けた国の動向を踏まえた期末手当減額の条例改正	
議案第 10 号	森町特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	〃	
議案第 11 号	森町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	〃	
議案第 12 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	〃	
議案第 13 号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	〃	
議案第 14 号	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	医療職の処遇改善のために上限等級の引き上げを行う条例改正	
議案第 15 号	森町消防団条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	階級に応じた団員報酬額の変更等を行う条例改正	▶ 10 ページに掲載
議案第 16 号	森町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	書式の押印を廃止する等の条例改正	
議案第 17 号	森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	県の運用方針に基づく変更や根拠法令の改正に基づく変更等を行う条例改正	
議案第 18 号	森町中小企業・小規模企業振興基本条例について	原案可決	3月24日	中小企業等の振興に関する基本的事項を明文化するために新たに条例を制定	▶ 10 ページに掲載
議案第 19 号	森町火入れに関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	書式の押印を廃止する等の条例改正	
議案第 20 号	令和3年度森町一般会計補正予算（第14号）	原案可決	3月7日	各種事業の進捗状況により令和4年度に繰越を行う等の補正予算	▶ 11 ページに掲載
議案第 21 号	令和3年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	3月7日	令和2年度の実績に基づく精算に伴う補助金の超過交付分を返還する補正予算	
議案第 22 号	令和3年度森町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	3月7日	令和2年度の実績に基づく精算に伴う補助金の超過交付分を返還する補正予算	
議案第 23 号	令和3年度森町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	3月7日	令和3年度内に完了が見込めない事業を繰り越すための補正予算	
議案第 24 号	令和3年度森町病院事業会計補正予算（第4号）	原案可決	3月7日	コロナウイルス患者の病床確保等支援に対する国・県補助金を計上する補正予算	
議案第 25 号	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	原案可決	3月1日	養護老人ホームとよおか管理組合の解散に伴う規約改正	
議案第 26 号	森町農業委員会委員の4分の1以上を認定農業者等とすることについて	同 意	3月1日	関係法令に基づき、農業委員会委員の4分の1以上を認定農業者等とする	
議案第 27 号	森町農業委員会委員の任命について	同 意	3月1日	任期満了に伴い、地区・地域等からの推薦者や公募により応募された方等を選任	▶ 12 ページに掲載
議案第 28 号	令和4年度森町一般会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 8 7 億 7 6 0 0 万円	▶ 4・5 ページに掲載
議案第 29 号	令和4年度森町国民健康保険特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 2 1 億 4 3 7 3 万円	▶ 6 ページに掲載
議案第 30 号	令和4年度森町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 2 億 3 7 9 1 万 7 千円	▶ 6 ページに掲載
議案第 31 号	令和4年度森町介護保険特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 2 2 億 4 0 9 1 万円	▶ 6 ページに掲載
議案第 32 号	令和4年度森町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 7 億 8 5 3 4 万 1 千円	▶ 7 ページに掲載
議案第 33 号	令和4年度森町大久保簡易水道事業特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 1 3 1 万 9 千円	▶ 7 ページに掲載
議案第 34 号	令和4年度森町三倉簡易水道事業特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 1 1 9 万 6 千円	▶ 7 ページに掲載
議案第 35 号	令和4年度森町大河内簡易水道事業特別会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 1 9 万 1 千円	▶ 7 ページに掲載
議案第 36 号	令和4年度森町水道事業会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 8 億 5 5 8 3 万円（支出総額）	▶ 7 ページに掲載
議案第 37 号	令和4年度森町病院事業会計予算	原案可決	3月24日	予算規模 3 5 億 9 8 8 6 万 2 千円（支出総額）	▶ 7 ページに掲載
議案第 38 号	令和3年度森町一般会計補正予算（第15号）	原案可決	3月24日	寄附金による図書購入費用等を計上する補正予算	
議案第 39 号	令和4年度森町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	3月24日	国の補正予算で追加された交付金を活用し、事業を行う費用等を計上する補正予算	▶ 11 ページに掲載
発議第 1 号	ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議について	原案可決	3月22日	ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議を可決	▶ 12 ページに掲載
発議第 2 号	森町議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	3月24日	書式の押印を廃止する条例改正	
陳情第 1 号	森町立幼稚園の朝の預かり保育の実施に関する陳情	みなし採択	3月24日	森町立幼稚園の朝の預かり保育の実施に関する陳情をみなし採択	▶ 12 ページに掲載

一般質問

一般質問とは、町議会議員が町政全般について、町長や執行機関に質問することをいいます。

3月定例会においては、全議員12人中 **3** 人の議員が一般質問を行いました。

質問と答弁の要約した内容を質問順に掲載します。

清水 健一 議員

- 町の災害事業継続計画（BCP）について
- 男女共同参画について
- 通学路の交通安全対策継続について

川岸 和花子 議員

- 森町の子育て環境について

岡戸 章夫 議員

- 開発可能性調査について
- 町長と語る会での意見は

森町議会のYouTubeでは、本会議の質疑だけでなく、一般質問の様子も公開しています。

データが議員ごとに分かれていますので、見たい一般質問が探しやすくなっています。

本会議に来られた方も、来られなかった方も、ぜひ一度ご覧ください。





清水 健一

問

町の災害事業継続計画（BCP）の実効性は

答

大災害を想定した実効性は確保できている



一般質問の映像

清水

森町BCPを基にした訓練・点検・見直しは実施しているか。

町長

水害や地震等を想定した災害対策本部の運営を、年3回実施している。また、期間を定めて各課において地域防災計画の確認や、BCPの見直し、機材の点検等を実施しており、実効性は確保できている。

清水

過去の災害を教訓に、具体的な準備ができているか。

防災課長

県の第4次被害想定を基に、地域防災計画を策定している。また、南海トラフ巨大地震を想定し、具体的事例を踏まえた訓練を実施している。

清水

災害時の通信手段は確保できているか。

町長

県への伝達手段は、防災情報共有システムを使用し、バックアップとして、衛星電話や一般回線を利用する。また、行政無線を消防団車両や避難所等へ146台を配置している。

【その他の質問】

男女共同参画の方向性は

清水

男女共同参画社会の今後の進め方はどうか。

教育長

男女共同参画社会の実現のため、基本目標を4つ（教育・職場・家庭・地域）定めている。平成28年度から10年間で計画期間とし、「森町男女共同参画推進委員会」を設置して、検証と確認をしている。

今後は、推進委員の意見や指導内容を参考に一層踏み込んで取り組む。

組み、次期計画策定に向けて準備を進める。

清水

社会状況の変化とともに性別の自由がうたわれているが、町の取組はどうか。

教育長

令和3年12月に、浜松T G研究会代表鈴木げん氏を招き、人権講演会を開催した。

また、小中学校でも人権教育として、多様な性への理解を深める学習を実施した。

今後は、町民の声を傾聴しながら、適切な対応を考えていきたい。

清水

職場や教育現場において、多様な性に寄り添うことができる人材（アライ）の育成が必要と考えるがどうか。

教育長

相談システムやアライは将来必要と考えるが、まずは丁寧に関わりながら生活できる環境づくりを進めていく。

通学路の安全性は

清水

通学路の安全対策は継続して行われているか。

町長

県と町では通学路交通安全全プログラムを策定しており、町はそれに基づいて点検と対策を随時実施している。

また、新たに未就学児等を対象に加えた交通安全プログラムを策定し、交通安全対策に取り組んでいる。

*アライとは…

アライ（ally）は、「味方」を意味する単語です。

そこから転じて、「LGBTQを理解・支援する人」を指す用語となっています。





子育て世帯に優しい森町児童館



川岸 和花子

問

子育てがしやすい町にしていきたいためには

答

待機児童を解消し、子育て・子育てに必要な施策を行う

川岸 幼稚園の早期預かり保育の陳情書が出されたが、その対応は。

学校教 朝の預かり保育の必要が育課長 突発的に発生した時には、各園で登園時間前の支援を行っている。継続的に実施するための課題は、早朝の支援員の確保である。今後は、登園前預かり保育の支援員を確保し、弾力的に対応していく。

川岸 待機児童の解消対策は考えているか。

町長 令和5年4月を目途に、民間保育園の新設を目指している。開設されれば、待機児童は解消できると見込んでいる。

保健福 待機児童を減らす取組で、社課長 令和4年度は町内の認定保育園への定員緩和措置として、申込が多い3歳児の定員を増やす入所枠確保事業に対する支援を行

う。

また、認可外保育園へ通園する園児への助成金の支給も引き続き実施する。

川岸 幼稚園の認定こども園化が進まなかった理由は。

保健福 こども園については検討社課長 を続けてはきたが、毎年出生数が減っている実情を踏まえ、検討の過程の中で、幼稚園・保育園の窓口一本化を先に進めた。

今回、町内に新設される民間保育園を支援し、待機児童を解消することを第一に考えている。それを踏まえ、今後のこども園のあり方について改めて考えていきたい。

川岸 森町児童館は、子育て世代にとって有意義な施設である。南部の地域にも似た施設を作れないか。

保健福 児童館の拡大は難しいが、社課長 より児童館の事業に参加

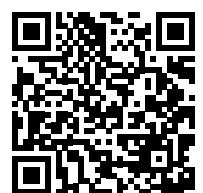
しやすくする取組として、令和3年度からオンラインでも参加できるように環境を整えた。今後も子育てしやすい環境づくりに努めていきたい。

川岸 母親目線での施策を取り入れるためには。

保健福 新設される健康子ども課社課長 で、子育て世代とのコミュニケーションを増やしていきたい。また、子育ての情報発信を促進するため、子育てサイトを新設する。



新設「健康こども課」のこれからに期待！



一般質問の映像



調査が始まる森掛川 IC 周辺地区



岡戸 章夫

問

開発可能性調査の狙いは

答

課題の洗い出しと解決策の検証

岡戸

来年度事業で開発可能性調査が行われるが、数値化し開発の判断材料とするのか。

町長

中川下工業専用地域は、土地所有者との交渉や農地に係る調整など課題が多く、企業誘致上の解決策や可能性を調査する。

岡戸

森掛川 IC 周辺だが、開発するということはあるか。

町長

地理的に優位で魅力的な地域であり、今回の可能



同じく調査が始まる中川下工業専用地域

【その他の質問】

森町を語る会での意見は

岡戸

1月に行われた若い世代との「森町を語る会」は、どのような意見が出たか。

町長

コロナ感染の急拡大で、集合開催から書面開催に変更した。森中学校区から10人、旭が丘中学校区から7人の意見・提案をいただいた。

内容は、幼稚園での早朝預かり保育、こども園化によるサポート体制、安心して遊べる大きい公園の設置、企業誘致による働く場所の確保、町外就学生への通学補助、学校跡地の活用などの意見や提案をいただいた。



一般質問の映像

政策提言検証評価



3月24日（本会議最終日）に、議長、副議長、第一・第二常任委員会委員長の4名で町長に政策提言検証評価を提出しました。

・政策提言とは

…森町議会では、町政の様々な課題を解決するために、町長に対して具体的な政策を提案する取組を行っています。提言の内容は、令和4年2月発行の議会だよりに掲載されています。

・政策提言を提出してから評価するまでの流れ

…政策提言提出後、町当局が提言をどのように施策に反映させたかを検証し、評価します。

・評価の基準

…以下の表に照らし合わせて、提言ごとにランク付けを行います。



評価基準表

ランク	検証評価基準	評点
A	必要な取組みを着実に実施。その結果、目標達成若しくはほぼ達成	5
B	必要な取組みを着実に実施。その結果、達成に向けて具体的成果が見られる	4
C	必要な取組みを概ね実施。その結果、一定の成果が見られ始めている	3
D	必要な取組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている	2
E	取組みに向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である	1

提言1の改 認定こども園の推進

幼稚園の需要が減少し、保育園の需要が増加していることから、特に南部地域にある公立幼稚園を、「幼稚園型認定こども園」に早期に改めること。

・評価ランク

E

幼稚園の預かり保育は一時的な対応であり、**多様なニーズに対する方向性が見えない**ことが今回の評価である。4月から開設の「健康こども課」の施策に大いに期待する。

提言2の改 企業誘致への取組

企業誘致や雇用の創出に取り組んでいるが、実績が見られない。森掛川・C周辺と中川下工業団地周辺を重点地域とし、企業誘致を推進すること。

・評価ランク

D

インフラ整備等の必要な取組には着手していると思われるが、

具体的な成果や企業誘致の取組に踏み出しているとは思えない。

今後の企業誘致の方針を明確にし、小中学校跡地利用も含めた企業誘致をより一層推進されたい。

提言4の改 デマンドタクシー導入促進

公共交通制度における高齢者及び交通弱者への対策として、乗合デマンドタクシーと同様の制度の早期導入を提言する。

・評価ランク

D

公共交通については、調査の実施や先進事例の視察など、前向きに検討していることは評価できる。しかし、**課題解決の期限が不透明な部分がある**ため、今後に期待する。

提言6の改 学校・工場跡地利用

・評価ランク

D

令和4年秋までに活用方針を示す点は評価するが、検討委員会の

回数が少なく、スピード感も感じられない。**具体的なものが未だ見えてこない**ため、今後に期待する。

提言7 風水害に対する防災対策

・評価ランク

C

必要な対応を進めていることは評価できる。近年、想定外の災害が増えているため、更なる防災対策の向上や避難所の再点検、地域と密着した防災訓練の推進等を期待する。

提言13 有害鳥獣対策

野生動物に対する正しい対策を普及し、環境整備や補助金制度の見直しを推進すること。

・評価ランク

C

鳥獣被害の取組は概ね実施され、一定の成果は見られ始めており、評価できる。補助金の増額や被害獣種に応じた正しい対策・知識の普及に努め、引き続き十分な調査・研究を進められたい。

提言14 町内会の環境美化活動

町内会の環境美化活動に対する支援の充実及び制度の周知徹底と、持続可能な方法を検討すること。

・評価ランク

C

各種制度の周知等についてはHPや回覧で実施しており、評価できる。この提言14は、今回で検証を終了する。

提言15 移住定住の推進

人口減少や空き家等の増加に対し、早急な対策が必要である。特に定住推進課の役割は重要であり、これまで以上に政策を展開するよう提言する。

・評価ランク

C

課の新設当初よりは、一定の効果が出ている。また、移住コーディネーターや地域おこし協力隊との連携が取れていることも評価できる。今後も課題解決に向け、さらなる調査・研究を求める。

みんなのこえ

森町歴史伝統文化保存会

「小京都は人づくり」



高平山 遍照寺

森町の「遠州の小京都」たる由縁は、京都にも似た地形と、古い歴史と伝統を今なお継承していることです。当会は、町内の歴史的遺産を保護保存し、奥行きのある、また、深みのある町づくりに寄与することを目的として、平成三十一年に、会員二百五十余名をもって発足いたしました。

明治三十一年、地理学者志賀重昂^{しがしげたか}が小京都と称えて百二十四年、緑豊かで、古きよき建物や土蔵など未だ姿を残し、太田川岸の桜花は、京都鴨川の如く今年も開きました。形あるものは、いつかは無に帰しますが、風情ある景観は、未来まで残したいものです。そのためにも、歴史と伝統を大切に思い、地道な地域活動を継承して「人」づくりをすることこそ、大切にすべき基であると信じます。

会長 北島 恵介

連絡先 85-0108 (歴史伝統文化保存会事務局)

表紙の題字は、静岡県立遠江総合高等学校卒業生

ふじた ゆう
藤田優羽さんが書いてくれました。



募集中!

議会だよりの感想をお聞かせください!

議会だよりに関するアンケートを実施しています。数分程度で完了する、とても簡単なアンケートです。議会だより編集委員会では、町民の皆さんに親しみを持って読んでいただける議会広報誌を目指して取り組んでいます。ぜひ回答にご協力をお願いします。

QRコードを読み取ってください。



6月定例会の予定

6月 2日 (木)	議会運営委員会
6月 8日 (水)	本会議 (招集)・全員協議会
6月13日 (月)	本会議 (2日目)
6月16日 (木)	常任委員会
6月23日 (木)	本会議 (3日目)
6月27日 (月)	本会議 (最終日)

※会議の開始時間は午前9時30分です。

※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

ひとこと

令和4年度がスタートしました。蔓延防止も解除され、桜の時期には多くの方々が森町に訪れてくれました。町には、花菖蒲・紫陽花・萩・桔梗などの彩り豊かな花々が楽しめる神社仏閣が沢山あります。ウィズコロナの時代にはピッタリの町だと思っています。先人が大切に護り、残してくれた自然環境や歴史文化を今一度再認識して、町内外に発信していきたいと思えます。

また、議員になり2年目に入りました。住む人も訪れる人も「笑顔溢れる森町」になるよう、引き続き精一杯精進してまいります。(増田恭子)

議会だより編集委員会

委員長 長 吉 筋 恵 治
副委員長 長 川 岸 和 花 子
委員 員 平 川 勇
委員 員 佐 藤 明 孝
委員 員 清 水 健 一
委員 員 増 田 恭 子
発行責任者 議 長